

the people

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

the people (NPO法人ザ・ピープル)

令和2年(2020年)6月号

発行:特定非営利活動法人 ザ・ピープル

代表者:吉田 恵美子

所在地:〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298

URL:http://npo-thepeople.com/

E-mail:the-people@email.plala.or.jp

onahama.volunteer@gmail.com



今年度補助事業スタート

コロナウイルスの影響で、総会の開催も書面で…という異例の年度が始まりました。

本会の根幹をなす古着リサイクル事業。東日本大震災後取り組む「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」。小名浜ボランティアセンターが運営する「フードバンクいわき ザ・ピープル」。そして、JICA委託事業として展開するミクロネシアでの支援事業。こうした事業の組み合わせを通して、本会が目指す「元気な街には 元気な主張を続け 元気に行動する市民がいる」という合言葉が表す住民主体のまちづくりを、今年度も進めていくこととなります。

それぞれの事業を進めるにあたって、日常の古着リユース販売によって生み出す収益で事業費を賄うことは到底無理があります。そこで、各事業の中で成し遂げたい目標と事業計画を提出して事業助成の申請を行い、採択を待つこととなります。今年度、本会では以下の助成金を活用してそれぞれの事業を進めることができるようになりました。大きな助成は、本会にとって大きな力であると同時に社会に対して果たさなければならない責任の大きさも表すものと言えます。

今後の事業進捗については、この会報の中やFBページなどで順次報告させていただきます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

- WAM助成・パルシステム連合会地域づくり基金助成事業(フードバンク関連)
- セブンイレブン緑の基金(フード&クロージングバンク関連)
- 地球環境基金・復興庁「心の復興事業」(「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」関連)
- いわき市「まち未来創造支援事業」(コロナ対策関連)

新型コロナウイルス感染症の影響広がる

昨年度末から、世界中が新型コロナウイルス感染症との戦いの中に投げ込まれています。日本もその例外ではなく、様々な分野で大きな影響が出ています。それは本会の活動についても同じです。そのいくつかをレポートしたいと思います。

古着リサイクル活動の見直し迫られる

コロナ禍の中、本会の財源であるチャリティショップの運営によって生まれる事業収入は、大幅な減少に見舞われました。2020年4月期の売り上げが前年度比マイナス65%へと追い込まれたのです。その時期、本会ではチャリティショップの休業と古着回収のストップを行っていました。その為、事業収入の減少は致し方ないものではありませんでしたが、回収をストップした間も持ち込まれる古着の量はあまり減少せず、回収再開後に満を持していたかのように寄せられる古着の量が、通常と比較して大きく増大しました。その為、現在でも倉庫の保管能力を超えかねない状況が続いています。

全国的にも、報道等で伝えられているように、輸出向けの古着流通がストップして故繊維業界全体がオーバーフローの状態に陥っています。更に、自動車業界が苦境に立たされていることで、自動車の内装材として活用している反毛関連の出先も厳しい状況に追い込まれています。

こうした古着を取り囲む環境が苦しくなっている中で、本会ではこれまで推し進めてきた古着リサイクルに関する姿勢を改めて問い直さざるを得ないと考えようになりました。それは、「福島県を古着を燃やさない県に！」と、14年前にスタートさせていた県内の遠隔地での回収ボックス設置を再検証し、地域コミュニティで本当に必要とされているのかを改めて確認しようとしたのです。この検証作業は、セブンイレブン緑の基金の助成事業の一部として進められました。

私たちは、遠隔地の古着回収ボックス管理者への訪問ヒアリングを実施。その中で、福島市内の古着回収ボックスについて、地域の中でうまく活用しきれていない実情が見えてきました。更に、地域内で活用する目的を持たないままの古着回収継続は、設置管理者にとって大きな負担感を残していることも見えてきました。そこで、本会では、福島市で実施してきた4か所での古着回収中止を決定。5月末をもってボックス撤収を済ませ、今後は本会宛てにお送り下さるようお願いの掲示をさせて頂きました。これまでご利用下さった皆様にはご迷惑をお掛けすることになり、申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

※今回撤収措置をとった古着回収ボックスの設置場所
福島市北沢又(びーぶる福島店も閉店)・蓬莱団地くるくるバス発着所
桜の聖母短大内・野田町ファーストクリーニング



▲山積みとなった古着



▲ボックスから溢れる古着

みんなの畑 6月からスタート

復興庁「心の復興事業」として進められている「みんなの畑」。「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」でのコットン栽培を、原発避難者の皆さんと一緒にこの取り組みが、今年も始まりました。しかし、今年はコロナウイルスの影響で4、5月には活動日を設けることが出来ず、6月12日が初回となりました。畑はすでに播種時期を過ぎているため、畝間の草刈りが最初の活動になりました。コットン畑の手入れの後は、昨年度から育てていたスナップエンドウ、キャベツ、にんにくの収穫。そして、富岡社協さんが用意した花の苗の定植まで。皆で久しぶりの農作業を楽しみました。

これからは、毎月第2金曜日9:30-11:30(8月を除く)に小名浜上神白のコットン畑で活動を行います。どなたでも参加できます。どうぞ、奮ってご参加下さい。